

金額を手で合計するのをやめる

SUMIFS

TX03

金額を訂正した後も、足し直さずに集計する

Microsoft Excel 2021以降 | 架空の補助金交付台帳18件

地区別の合計から、事業別の合計へ

台帳を残して、確かめられる合計表を作る

1 地区別に合計

別シートに表を作る

2 訂正の反映

金額の訂正を確かめる

3 事業別へ転用

条件を探す列を選ぶ

配布元から手元にコピーを保存し、TX03_practice.xlsxを開く

完成見本は26分の答え合わせで開く。台帳シートは複製しない

合計する金額と、条件を探す列

「補助金台帳」で列を確認 → 「地区別集計」のB3へ入力する

補助金台帳：金額と地区の列

	A	B	C	D
1	交付番号	地区	事業	交付額
2	G001	北部	防災	120,000円
3	G002	南部	地域活動	80,000円
4	G003	中央	防災	90,000円
5	G004	北部	地域活動	60,000円
6	G005	南部	防災	200,000円
7	G006	中央	地域活動	100,000円
8	G007	北部	防災	80,000円
9	G008	南部	防災	130,000円

① 交付額 D2:D19

② 地区 B2:B19

二つの範囲は、どちらも2～19行目。台帳は並べ替えずに残す

地区別集計：条件と入力先

	A	B
2	地区	合計額（円）
3	北部	
4	南部	
5	中央	

③ 条件はA3「北部」

式を入れるのはB3

北部の交付額をSUMIFSで合計する

入力先 : 「地区別集計」B3。式は、金額の範囲 → 地区の範囲 → 北部の条件。

**=SUMIFS(補助金台帳!\$D\$2:\$D\$19,
補助金台帳!\$B\$2:\$B\$19,地区別集計!A3)**

- | | |
|----------|--------------|
| ① 合計する金額 | 台帳のD2:D19 |
| ② 条件を探す列 | 台帳のB2:B19 |
| ③ 条件のセル | 地区別集計のA3「北部」 |

F4 : コピーで範囲を動かさないため、\$を付けて固定する

- (1) B3に =SUMIFS((2) 台帳D2:D19を選択 → F4 → ,
(3) 台帳B2:B19を選択 → F4 → ,
(4) 地区別集計へ戻りA3をクリック →) → Enter → B3を選び直す

地区別集計 : B3に入力

	A	B
2	地区	合計額 (円)
3	北部	
4	南部	
5	中央	

Enter後 : 680,000円

北部7行の交付額の合計

下へコピーすると、条件のA3はどこを指す？

まだコピーせずに考えましょう。B3の式をB4へコピーすると、条件のA3はどうなる？

地区別集計：コピー前

	A	B
1	地区別の交付額	
2	地区	合計額（円）
3	北部	680,000
4	南部	
5	中央	

B3右下の■
フィルハンドル

まだ操作せず、
条件A3の動きを考える

B4へコピーしたとき、条件A3はどこを指す？

考えを伝えたら、B3右下の■をB5までドラッグしてコピーする

B4の式で、固定した範囲と動いた条件を確認

「地区別集計」のB4を選び直し、数式バーを見る。

地区別集計：コピー後

	A	B
1	地区別の交付額	
2	地区	合計額（円）
3	北部	680,000
4	南部	800,000
5	中央	550,000

確認する場所

範囲：\$D\$2:\$D\$19
\$B\$2:\$B\$19

条件：A3 → A4「南部」

=SUMIFS(補助金台帳!\$D\$2:\$D\$19,
補助金台帳!\$B\$2:\$B\$19,地区別集計!A4)

額が正しく見えても、B4の式で二つの範囲を確認する

表の総計と、元台帳の総額を比べる

B6 → D6 → F6の順に入力し、二つの総額と差額を照合する。

地区別集計：総計・元台帳総額・差額

	A	B	C	D	E	F
2	地区	合計額（円）				
3	北部	680,000				
4	南部	800,000				
5	中央	550,000				
6	総計	2,030,000	元台帳総額	2,030,000	差額	0

① B6：表の総計 =SUM(B3:B5)

② D6：元台帳総額 =SUM(補助金台帳!\$D\$2:\$D\$19)

③ F6：差額 =B6-D6

総計 2,030,000円 = 元台帳総額 2,030,000円 / 差額0円

差額0円でも、集計漏れや入力間違いは分からない

集計範囲の外の行や、文字として入った金額は、二つの合計から漏れることがあります。

① 集計範囲：台帳の最終行を見る

	A	B	C	D
18	G017	南部	防災	170,000円
19	G018	北部	地域活動	70,000円
20				

今回の式は2～19行目が対象

20行目以降に追加した行は、
地区別の合計にも元台帳総額にも入らない

② 入力内容：D2を選び、数式バーを見る

「補助金台帳」

① D2

fx ② 120000

	A	B	C	D
1	交付番号	地区	事業	交付額
2	G001	北部	防災	120,000円
3	G002	南部	地域活動	80,000円

③

現在の値は120000

数式バーに「円」などの文字が
付いていないか確認する

このページでは金額を変更しない。
表示との違いはP10で確認する

金額そのものが正しいかは、申請書などの元記録と照合する

数値かどうか気になる金額は、講師と確認する。数字だけの表示でも断定しない

交付額の訂正で、どの地区の合計が変わる？

「補助金台帳」のG001を見て、金額を訂正したときの合計を考えましょう。まだ入力しません。

補助金台帳：変更前のG001

	A	B	C	D
1	交付番号	地区	事業	交付額
2	G001	北部	防災	120,000円
3	G002	南部	地域活動	80,000円
4	G003	中央	防災	90,000円

D2を120,000円から150,000円に訂正するとしたら…

集計式は編集しない。台帳シートは複製しない

まだ入力せずに考えましょう。どの地区の合計が、いくら変わる？

D2の訂正は、数字だけで150000と入力

「補助金台帳」のD2へ入力 → Enter → D2を選び直す。

補助金台帳：数式バーとセルの表示を見比べる

D2 fx 150000

	A	B	C	D
1	交付番号	地区	事業	交付額
2	G001	北部	防災	150,000円
3	G002	南部	地域活動	80,000円
4	G003	中央	防災	90,000円

数式バー 150000（入力した数字）

セルの表示 150,000円（桁区切りと円は表示形式）

「150000円」と入力すると文字になる。数字だけで入れ直す

北部が30,000円増えたことを確認し、台帳の金額を戻す

まず「地区別集計」で、集計式を変更せずに合計が更新されたことを確かめます。

地区別集計：訂正前と訂正後（円）

	訂正前	訂正後	
北部	680,000	710,000	変わった
南部	800,000	800,000	同じ
中央	550,000	550,000	同じ
表の総計	2,030,000	2,060,000	変わった
元台帳総額	2,030,000	2,060,000	変わった
差額	0	0	同じ

北部だけが増える

+30,000円

表の総計と元台帳総額も
30,000円増える
差額は0円のまま

確認できたら、「補助金台帳」のD2に120000と入力して戻す

「地区別集計」で再確認：北部680,000円
表の総計・元台帳総額は2,030,000円、差額0円

事業別の合計表を、自分で作る

「事業別集計」を開く。地区別の手順画面・完成見本は閉じ、4分間取り組む。

事業別集計：作る表

	A	B	C	D	E	F
1	事業別の交付額					
2	事業	合計額（円）				
3	防災					
4	地域活動					
5	総計		元台帳総額		差額	

B3・B4：事業別の合計

金額の列と、条件を探す列を自分で選ぶ

① B5：表の総計

事業別の合計を足す

② D5：元台帳総額

台帳の交付額全体を足す

③ F5：差額

表の総計と元台帳総額の差を求める

何で分けて合計する？ それは台帳のどの列？

事業別でも、台帳全体の総額は同じ

完成見本を開いて答え合わせ。式のどこを変えたか、理由を説明する。

事業別集計：完成表（円）

	A	B	C	D	E	F
1	事業別の交付額					
2	事業	合計額（円）				
3	防災	1,200,000				
4	地域活動	830,000				
5	総計	2,030,000	元台帳総額	2,030,000	差額	0

B3 =SUMIFS(補助金台帳!\$D\$2:\$D\$19,
補助金台帳!\$C\$2:\$C\$19,事業別集計!A3)

合計する金額はD列のまま。条件を探す列は地区B列 → 事業C列

① B5：表の総計	=SUM(B3:B4)
② D5：元台帳総額	=SUM(補助金台帳!\$D\$2:\$D\$19)
③ F5：差額	=B5-D5 → 0円

自分の台帳では、何の金額を何別に合計する？

金額の列と単位

例：補助金の交付額（円）

条件を探す列

例：台帳の「事業」列（防災・地域活動）

更新した後の確認

訂正後の合計と差額を確認する。最終行・入力内容も別に見る

カードに、使う台帳と明日試す作業を一言書く